

矢作川流域圏懇談会通信

R2 フィールドワーク vol.1



発行日：令和2年10月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆根羽村の木づかい現場を訪れ、地元産材の活用などについて学びました！

根羽村森林組合が取り組んでいる木づかい活動の現場のいくつかを訪れ、地元産材の活用、森林の保全や育成について学習しました。

日時：令和2年8月29日（土） 9:30～12:00

場所：①山地酪農実験地：フォレストガーデン構想 ②小柄私有林植栽地：スギ・コンテナ苗植栽 ③万場瀬集落周辺森林：俺の裏山事業 ④ハナモモ植栽地：企業 CSR 活動

参加者：12名（事務局を含む）



◆フィールドワークの記録

① 山地酪農実験地：フォレストガーデン構想

ネバーランド近くの山地酪農実験地。フォレストガーデン構想の一環として、ブランコやデッキなど、間伐材を使った木のアイテムが設置され、森と人との共生のための空間づくりを試行しています。



山地酪農実験地 牛が放牧されている



地元産材を利用した各種アイテム（左：休憩所 中：木のデッキとテント 右：ブランコ）



② 小柄私有林植栽地：スギ・コンテナ苗植栽

林齢平準化への対応として、スギのコンテナ苗を植栽しています。植栽ではシカによる食害を防止するため、安価で施工性の高い単木防護柵（チューベックス）が導入されています。今後は、スギだけでなく「広葉杉」の植栽も検討されています。



単木防護柵によるシカの食害対策の試行

動画のリンクは、
こちらをクリック

③ 万場瀬集落周辺森林：俺の裏山事業

地域社会活動を提供する場所として「俺の裏山事業」が実施されています。自分の裏山を伐採し、丸太や切株を利用した里山の楽しみ方を試行しています。



④ ハナモモ植栽地：企業 CSR 活動

フォレストガーデン構想の一環として、企業の CSR 活動によるハナモモ苗の植栽が進められています。花を軸として、景観・空間づくりを工夫しています。



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 佐藤、専門官 竹下、技官 中村
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijnet.or.jp) までお送りください。

